

# Application for Participation

## Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

「ぼくたち わたしたちのまち 新川」  
～地域で学び，地域から学ぶ，そして地域を愛す～

### Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

#### Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校は、校内の縦割り班による活動、保護者・PTAの方々とともに取り組む行事、校区の老人会の方々から学ぶ学習など、異学年や世代を超えたさまざまな人との関わりを大切にした教育活動を実践してきた。

校内では、年間を通じて「なかよし班」という1年生から6年生までの縦割り班を編成し、異学年での関わりを重視した児童会活動に取り組んでいる。また、低学年が毎年、校区の老人会の方から草取りを学びながら、いっしょに校庭の草取りを行ったり、月に1～2回程度、保護者のボランティアの方々による全学級での読み聞かせを行ったりしている。中・高学年は、教科学習や総合的な学習のなかで、その分野における専門的な知識をもつ外部講師を積極的に招聘し、学習を深めている。

このことを「持続可能な開発のための教育」(ESD)の推進に結びつけていくために、これまでの各学年のカリキュラムを見直し、学校行事や児童会活動との関連も含めて、教育活動を体系化することにより、意図的・計画的な実践を行っていくことにした。この実践を継続的に行うことにより、地域への誇りや愛着を育むとともに、地域社会を支える世代を超えたさまざまな「人」の存在を実感することができると考えている。

#### Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDへの取り組みの入り口を地域連携とし、人との関わりやつながりを尊重できる子を育むことを目的として活動を進めていく。

明治34年創立という伝統のある本校の校区は、三世代で本校卒業生という世帯も少なくなく、厳しい目を注がれている反面、大変協力的である。これまでも、毎朝、登校する児童を見守る交通立ち番に多くの方が参加してくださったり、クラブ活動や部活動に校区の方が、指導してくださったりしている。子どもたちには、親や先生だけでなく、校区の方々に見守られていることに改めて気づかせていきたい。

さらには、立場や世代、さまざまな人との関わりが自分たちの成長に役立っていることに感謝をし、校区の方々をはじめ、自分の周りの人々を尊重する気持ちを育んでいきたい。

そのため、以下のような活動に、それぞれの目標を掲げて活動に取り組んでいく。

##### (1) 異学年と関わる活動

- 異学年で構成された班による活動を通して、お互いの理解を深める。
- 上級生は、下学年に対する思いやりの心を育み、頼られることによる自己有用感を抱く。
- 下学年は、上級生に大切にされることを実感するとともに、感謝の気持ちを抱く。

(2) P T A／保護者との連携を密にする活動

- 親子でいっしょに体育的文化的活動に取り組み、保護者と同じ体験を共有する。
- 保護者からボランティアを募り、親子の枠を超えて、学習の支援をしてもらう。
- 児童会運営委員が保護者の方々とともに、朝の登校時に校門や通学路のポイントであいさつ運動を展開し、全校であいさつに対する意識の高揚を図る。

(3) 校区・地域の方々から学ぶ活動

- クラブ活動において、校区在住でその競技の専門的技能を有する方に、年間を通して学校へ来ていただき、その技能を学ぶ。
- 校区老人会の方々とともに活動しながら連携を深める中で、技能や知識を学ぶ。
- 校区内にある施設やそこで働く人の様子を見学・調査することで、学習を深める。

## Execution (プロジェクトの実施)

(1) 異学年と関わる活動

◆ 児童会活動による「なかよし遊び」

年間通じて活動を共にする、全学年縦割りによる「なかよし班」を編成。「なかよし班」でゲームや競技を楽しむ「なかよし遊び」を年間20回程度実施。

◆ 縦割りやペア学年など、異学年の交流を目的の一つとした学校行事

運動会の応援合戦や大玉送りを全学年縦割りの紅白対抗として、6年生を中心とした縦割り集団による主体的な活動として位置付け。遠足では、上級生と下学年のペアでグループを編成して活動。

◆ 全校活動による「なかよし給食」

全校縦割りの「なかよし班」で給食を会食しながら、一年間の思い出を語り合う。

(2) P T A／保護者、地域との連携を密にする活動

- ◆ 学校行事「親子のつどい」
- ◆ 地域連携活動「あいさつ運動」
- ◆ 保護者ボランティアによる「読み聞かせ」
- ◆ 学校行事「校区・地域の方に感謝する会」

(3) 校区・地域の方々から学ぶ活動

- ◆ ダンスクラブ・バドミントンクラブ・グランドゴルフクラブ
- ◆ 低学年行事「ぬきぬき大作戦」
- ◆ 校外学習・出前授業
  - ・ 2年生生活科「四九の市の見学・買い物体験」
  - ・ 3年生社会科「大型小売店の見学・買い物体験」
  - ・ 4年生理科「豊川流域水質調査」
  - ・ 5年生総合「街づくり講座」
  - ・ 高学年図工「お店をつくろう」

◎ 活動を進めるためのESDアクティビティプログラム

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
異学年と関わる活動		ペア学年 遠足  運動会 紅白対抗	なかよし遊び							感謝 する会	なかよし 給食
校区・地域の方々から学ぶ活動			{2年生} 四九の市 見学 買物体験	[高学年] お店を つくろう	{4年生} 水質調査  校区 運動会	{5年生} 街づくり 講座  [低学年] ぬきぬき 大作戦	{2年生} 四九の市 見学 買物体験		{6年生} 書き初め 大書体験		
				ダンスクラブ・バドミントンクラブ・グラウンドゴルフ							
PTA保護者地域との連携を密にする活動	学校公開日		あいさつ 運動  学校公開日				親子の つどい  学校公開日	あいさつ 運動			
		読み聞かせ・図書整備									

(1) 異学年と関わる活動



異学年の交流を深める「なかよし遊び」(左)と「なかよし給食」(右)

(2) PTA/保護者との連携を密にする活動



親子での体験活動「親子のつどい」



保護者から学ぶ「保護者ボランティアによる読み聞かせ」

(3) 校区・地域の方々から学ぶ活動



地域の方から学び、地域の活動に参加する「お店をつくろう」



校区の方から学ぶ「クラブ活動」



校区老人会との活動「ぬきぬき大作戦」



校区・地域の方々から学んだことを振り返り感謝する「地域の方々に感謝する会」



校区から学ぶ2年生生活科  
「四九の市の見学・買物体験」



校区で体験しながら学ぶ  
「街づくり講座」

### **Type of materials to be used (使用する教材)**

- \* 「かがやくとよはし」 編集：豊橋市立小学校社会科副読本研修委員会  
発行：豊橋市教育委員会 平成23年4月1日発行  
印刷：株式会社アプライズ
- \* 「せいかつ」 啓林館

### **Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)**

指導教師は、ふだんの生活の中でも児童の態度・姿勢を観察し、プロジェクトの後にはふりかえりカードへの記述によって評価する。

それとともに、以下のような評価方法をとる。

- ・ 児童のさまざまな活動に対する成果を、事後のまとめや感想などから把握する。
- ・ 学習や活動のまとめとしての授業公開や夏休み作品展、行事などでの成果の発表の様子から、関心・意欲・態度などを観察し、評価する。

上記の評価とともに、学校評議員を通じた地域からの評価や、保護者・児童・教員向けの学校評価アンケート調査などからESDアクティビティプログラムの見直しを図っていく。地域を愛し、自分を支えてくれる周りの人々に感謝し、尊重する気持ちを育んでいくための活動内容を改善していく。

*On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.*

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

---

**Date (日付)**

---

**Principal's name (校長名 (※直筆))**

**Position, (役職) Principal**

**Institution's name (学校名)**

Toyohashi municipal SHINKAWA elementary school